

黒色ボールペンで記入してください（消せるボールペン不可）

様式第1号（おともて面）

※太枠内はすべて記入してください（両面とも）

県内校用

※必ず記入

兵庫県知事 様

記入日

令和元年

〇月

〇日

令和元年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金支給申請書（兼受給資格認定申請書）

次の7点を確認のうえ、すべての□にシ点を付けてください（いずれかにシ点が無い場合は、支給できません）。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、兵庫県の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は兵庫県以外の都道府県に高校生等奨学給付金（奨学のための給付金）の申請は行っていません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生を除く））の支弁対象ではありません。
- 私は、私立高等学校等奨学給付金の申請にあたって兵庫県に対して行う手続の一切（申請、請求、受領等）を学校設置者に委任します。
- 私は、学校設置者が兵庫県から受領した私立高等学校等奨学給付金を授業料以外の学校納付金債権に対して、相殺することに同意します。
- 私は、私立高等学校等奨学給付金の申請に必要な範囲において、学校及び兵庫県が保有している当該生徒及び親権者等の個人情報を利用することに同意します。

令和元年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金の支給を受けたいので、必要書類を添えて申請します。申請書記載内容は、令和元年7月1日現在の世帯状況等に相違ありません。また、支給された給付金はその趣旨に沿って活用します。

平日風間に連絡のとれやみ番号を記入してください

申請者住所	〒657-0022 兵庫県 神戸市 灘区 土山町 6-1		
ふりがな	しんわ たろう	電話番号	078-854-3800
申請者氏名	親和太郎	携帯電話	090-1234-5678
対象生徒との関係 (○で囲む)	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・生徒本人・その他 ( )		

※必ず記入

【対象となる高校生等について】

ふりがな	しんわ はなこ	生徒の 生年月日	(昭和) 平成 14年 11月 10日
生徒氏名	親和花子		

必ず押印

※上記内容に変更がある場合は、「兵庫県私立高等学校等奨学給付金支給申請変更届出書」を提出してください。

生徒の住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申請者と同じ			
	<input type="checkbox"/>	都道府県	市区町村	
生徒が在学する学校の状況	学校の名称	本校所在都道府県	兵庫県	
	親和女子高等学校			
	入学年月日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	
	平成 30年 4月 1日	全日制 定時制 通信制	なし <input checked="" type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/>	
過去の高等学校等の在学状況 (該当の場合のみ)	学校名	年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	~ 年 月 日	全日制 定時制 通信制	なし <input type="checkbox"/> 1回 <input type="checkbox"/> 2回 <input type="checkbox"/> 3回 <input type="checkbox"/> 4回 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/>

【申請する支給額】

○を記入	支給額	課程	該当する区分	県記入欄
/	52,600円	全日制 定時制 通信制	生活保護（生業扶助）受給世帯の高校生等	
/	38,100円	通信制	令和元年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が（保護者全員の合算）0円の世帯 対象生徒が通信制高校に在籍している	
/	98,500円	全日制 定時制	令和元年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が（保護者全員の合算）0円の世帯 下記以外の場合	
○	138,000円	全日制 定時制	令和元年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が（保護者全員の合算）0円の世帯 保護者等に扶養されている、 ①2人目以降の高校生等 又は ②15歳（中学生を除く）以上23歳未満の保護者等に扶養されている兄弟姉妹（高校生等を除く）がいる高校生等	

※いずれか該当する欄に○を記入

様式第1号(裏面)

【保護者等の収入の状況について】

おもて面の申請区分に応じて、次の(1)~(3)のいずれかの欄にレ点を入れるとともに、※欄も記入してください。

(1)生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書(7/1現在)を提出します。

①  生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書

(2)次の者の課税証明書等を提出します。(①から⑤までのいずれかの欄にレ点を付けてください。)

①	<input checked="" type="checkbox"/>	親権者(両親)2名分 ※親権者が2名存在する場合、親権者の一方が控除対象配偶者であっても必ず2名分の課税証明書等が必要です。
②	<input type="checkbox"/>	親権者1名分 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。) ※アもしくはイのいずれかの□にレ点を入れてください
		ア <input type="checkbox"/> 離婚、死別等により親権者が1名の場合 イ <input type="checkbox"/> 親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合等 (この場合の家庭の事情とは、ドメスティック・バイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合が該当します。)
③	<input type="checkbox"/>	未成年後見人( )名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分) (未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。)
④	<input type="checkbox"/>	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)1名分 ・親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・成人に達しているが主たる生計維持者が存在する場合 等
⑤	<input type="checkbox"/>	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合 等

(3)次の理由により、課税証明書等を提出しません。

所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

※上記(2)又は(3)の場合には、下記内容を確認のうえ、□にレ点を付けてください。

私の世帯は、7月1日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助を受けていません。

【扶養親族等の状況について】枠内に対象生徒及び及び対象生徒以外の高校生等及び15歳以上(中学生は除く)23歳未満の兄弟姉妹を記載してください。

内容を確認のうえ、下記の□にレ点を付けてください。

私は、令和元年7月1日現在、下の表に記載の者を扶養しています。

	続柄	名前	生年月日(年齢)	職業・学校名・学年等	奨学給付金の申請の有・無	申請額
対象生徒及び扶養している兄弟姉妹の状況	本人(対象生徒)	親和花子				
	兄・弟妹	親和陽子	昭和平成 13年9月10日 (17歳)	親和女子高等学校3年	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	98,500 円
	兄・弟妹		昭和平成 年 月 日 ( 歳)		有 ・ 無	円
	兄・弟妹		昭和平成 年 月 日 ( 歳)		有 ・ 無	円
	兄・弟妹		昭和平成 年 月 日 ( 歳)		有 ・ 無	円

※ 対象生徒以外の高校生等については、必ず学校名、学年とともに、奨学給付金の申請内容(申請の有無及び申請額)を記入してください。申請有の場合は、申請書の写し(両面)を添付してください。

※ 「続柄」欄は対象となる高校生等を基準とし該当区分に○を入れ、「年齢」は7月1日現在で記入してください。

※ 対象生徒及び対象生徒以外の高校生等及び15歳以上(中学生は除く)23歳未満の兄弟姉妹を記載してください。

※ 記載した全員分の住民票(在寮証明でも可)及び健康保険証の写し(生活保護(医療扶助)を受けており、健康保険証を有していない場合を除く)を添付してください

<申請前に再度確認し、レ点を入れてください>

- 記入・押印漏れはありませんか?
- 添付書類の漏れはありませんか?

- 住民票
- 保護者の収入を証明する書類
- (世帯全員分)
- 健康保険証のコピー(生活保護世帯除く)
- 在学証明書
- 兄弟姉妹の奨学給付金支給申請書のコピー
- 通帳のコピー
- (該当する場合のみ)

本校は不要です